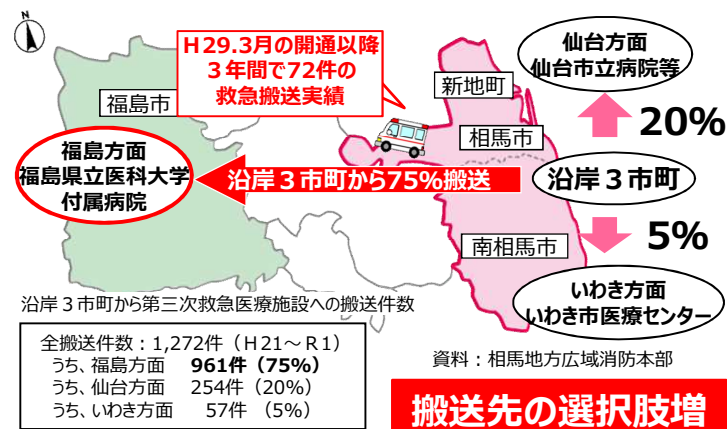


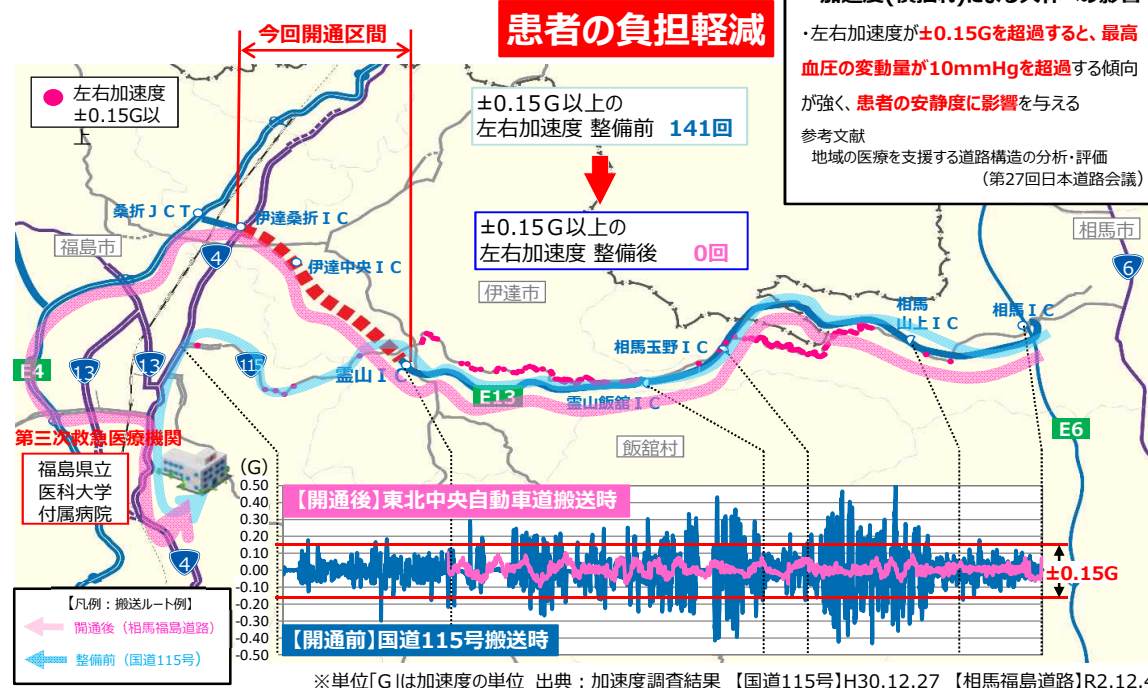
# 迅速で安定した救急医療活動を支援

- 第三次救急医療機関がない相馬市沿岸部では、約8割が福島県立医科大学付属病院へ搬送。
- 現道は急カーブなど線形不良箇所が多く、搬送時の患者容体への影響が懸念。
- 搬送時間の大幅な短縮、安定した搬送が可能となり、「命の道」として迅速な救急医療施設への搬送と安定性向上を支援。

## ▼第三次救急医療機関への搬送割合 (H21～R1)



## ▼東北中央自動車道と国道115号の左右加速度



- 加速度(横揺れ)による人体への影響 -

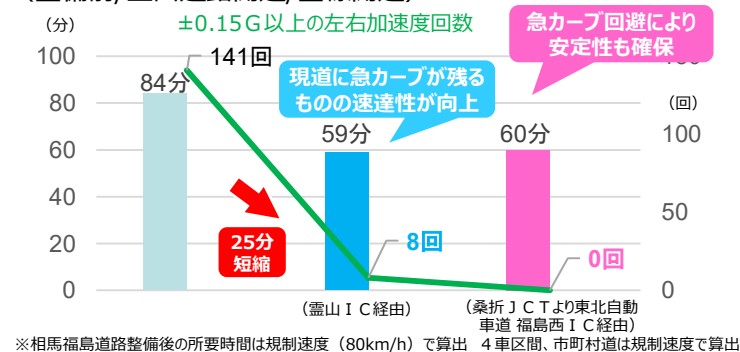
・左右加速度が $\pm 0.15G$ を超過すると、最高血圧の変動量が10mmHgを超過する傾向が強く、患者の安静度に影響を与える

参考文献  
地域の医療を支援する道路構造の分析・評価  
(第27回日本道路会議)

■ 全線開通すれば、搬送時間短縮と患者負担軽減が期待でき、内陸方面の搬送の選択肢も増えるため、相馬福島道路を利用し東北道で降りることになると思います。

出典: 相馬地方広域消防本部ヒアリング結果 (R2.10)

## ▼相馬市役所→福島県立医科大学付属病院の搬送時間比較 (整備前/霊山道路開通/全線開通)



## 整備前



## 整備後



## 冬期も安定した走行を確保

■ 急カーブや急な坂道が無くなり、搬送時の速達性と安定性が向上しました。

出典: 相馬地方広域消防本部ヒアリング結果 (R2.10)